花の苑タイムズ

令和8年10月15日発行
第145号

〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL：027-329-7211
社会福祉法人健生会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

「しんたかお祭り」へ向け準備進む

作品展示35点、芸能発表も

開催を目前に控えた地域伝統の新高尾地区文化祭（しんたかお祭り）へ向けて、苑内では現在、作品展示の部、芸能発表の部、ともに鋭意準備に取り組んでいます。

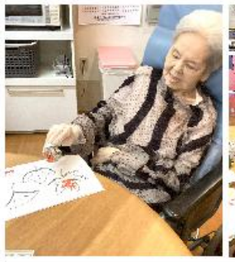
このうち作品展示の部では今回、各ユニットからご利用者34名がエントリーし、すでに申し込みを済ませ、現在作品の制作を進めているところです。内訳は塗り絵13点、貼り絵5点、ちぎり絵4点、スクラッチアート2点、書道4点、短歌及び俳句3点、手工芸4点の合計35点。

昨年に続き今回も書道で参加する3号館ご利用者・木暮正様は、「長年親しんできた地元のしんたかお祭りに参加出来て嬉しいです」と語り、力強い筆遣いで作品制作に励んでいました。

一方、芸能発表の部では、ご利用者を含むウクレレバンド「タンポポ」のメンバーが、発表曲『亜麻色の髪の乙女』『野に咲く花のように』などの練習を重ねています。











今期三回目の運営推進会議開く

稼働状況・地域連携など報告

令和八年度第三回目の九月度運営推進会議が九月二十四日、高崎花の苑会議室で行われました。

今回の会議では、入所者待機状況及び稼働状況をはじめとする施設運営状況が報告された他、地域交流の実績などについて報告し、会議出席者からの意見を頂きました。

このうち入所待機者については、前回より4名増加の41名で、増加要因は連携先日高病院退院後の生活の場として申込みされるケースが目立つとし、選定会議の中では生活背景や身体状態により優先的に入所順位に食い込む事例もあると伝えました。

地域連携を報告

また施設が行う地域交流については、地元地区社協が実施した交流イベントにご利用者が参加した事例などを報告した他、近く行われる新高尾地区文化祭への参加・連携についても意見を交わしました。

施設全体で避難訓練を実施

10月初旬、秋の避難訓練が行われました。これまでの訓練は1・2号館と3号館別々で行っていましたが、今回初めて施設全体での訓練を実施しました。実際に火災が発生した場合、ご利用者様の避難誘導のために火元に近い場所にはより多くの職員が必要となります。応援の要請や役割分担などを円滑に行うため、今回の全体訓練が計画されました。

夜間の火災想定で行われた訓練は、夜勤者、宿直者のみで対応する形で進められました。訓練に立ち会った高崎北消防署の担当者からは限られた人数で何を優先して行動すべきか、迅速な情報伝達のための設備の使い方等の助言を頂きました。

初めての全体訓練は見えてきた課題も多く、今後も防災・防犯委員会を中心に有事の際の体制構築が進められます。



カメラスケッチ

市内鼻高町の『展望花の丘』では現在、コスモス祭りの終盤期を迎え、爽やかな秋風に揺れたコスモスの花が訪れた人を喜ばせています。

九月の長雨の影響で例年と比べコスモスの色具合がやや劣るものの、それでも晴れた日には可憐なコスモスと共に上毛三山を背景にしたロケーションはその名に相応しく見事でした。



雑感手帖

加藤 和昭

今回は私の仕事にも影響を与えた三国志を語りたいと思います。

三国志には多くの分岐点があり、あの時にこうしていればと思うことが多いです。私が思う三国志の最大のポイントは荊州です。

荊州は地名です。劉備は、軍師・諸葛孔明の進言もあり、益州（中国西側・後の蜀）を攻略し、天下三分の計を持って、魏の曹操（中国北側）、呉の孫権（中国東南）に対抗する形となりました。荊州は三国の中央にあり、平地で物流の要になる豊かな土地です。荊州は劉備の配下で義弟の関羽が治めていました。

関羽は勇猛で忠義に厚く筆頭的な将軍でした。関羽は主君・劉備の宿敵・曹操を破り天下を掴むべく、荊州から北方へ攻め上がり始めます。破竹の勢いで押し込んでいきますが、隙をつかれます。同盟状況にあった呉に背後から急襲されます。関羽は捕縛され打ち取られてしまいます。関羽は呉との外交を軽んじていたこともあり、このような結果となりました。

関羽を失った劉備は怒り心頭で大軍を率いて呉に報復戦を挑みますが、夷陵の戦いで蜀軍は壊滅的な打撃を受け、劉備は失意の中で倒れ亡くなります。総力戦だったので蜀の国力は地に落ち、劉備まで失うことになります。その後、諸葛亮の国政で国力は奇跡的に持ち直します。しかし天下を統一するほどの力はなく、蜀は滅亡していきます。

高崎花の苑は荊州のような重要なところに存在するように感じます。高崎と前橋の狭間にあり、日高病院にも近く、地域からニーズもあります。私は関羽のような傑物ではありませんので謙虚に仕事をし、人の話に耳を傾け、職員一同、力を合わせて守っていこうと思います。

因みに三国志では「星落秋風五丈原」というフレーズがあります。五丈原は地名ですが、秋風は季節を描写するだけでなく、諸葛亮の死（星落）によって時代の終わりと移り変わりを惜しむ儚い情景を意味します。

（施設長）

「敬老の日」を盛大に祝賀

長寿を祝い記念のカメラに

今年の敬老の日は九月二十一日。「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」とされるこの日の記念日を中心に、高崎花の苑各ユニットではそれぞれ米寿など賀寿（長寿の祝い）を迎えられた方に長寿の祝意を伝え、記念撮影を行いました。

百歳の慶祝訪問

また今年度に百歳を迎えられる方には、高崎市から慶祝訪問（市長代理）を受けられ、内閣総理大臣、群馬県知事、高崎市長等から慶祝状、記念品等が授与されました。慶祝訪問を受けられた方は、1号館横堀キクエ様、2号館木村マサノ様です。

その他、賀寿を迎えた皆様は次の通りです。

◎一号館
○ASユニット
（白寿）吉田正美様
（白寿）大山朋秋様
（卒寿）遊佐清子様
（米寿）今田スミ子様
○BCユニット
（百寿）横堀キクエ様
（卒寿）宮下公一様
（米寿）渡邊順子様
◎二号館
○Dユニット
（白寿）岡田ヨシエ様
（卒寿）村上繁康様
○EFユニット
（百寿）木村マサノ様
（米寿）高橋光子様
◎三号館
○GSユニット
（卒寿）田村幾夫様
（米寿）堀江美也子様
○HIユニット
（米寿）木暮　正様
（米寿）岡田俊子様















ユニットたより

「秋の曲で長寿を祝賀」

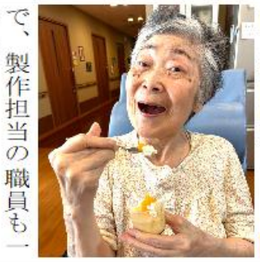
三号館GSユニットでは「敬老の日」に合わせ、記念の「敬老会」を行いました。

当日の内容は、皆様から要望のあった手作りプリン、歌の調べ、記念メッセージの贈呈等々。

歌の調べでは、「紅葉」や「ちいさい秋みつけた」「虫の声」など秋の童謡・唱歌を歌い楽しんで頂きました。ここでは「懐かしいね」「久し振りに歌ったね」との声が聞かれました。

この後、お好きな飲み物を選んで頂いた上でプリンを召し上がって頂きました。生クリームや果物がのったプリンは皆様から大好評だったようで、製作担当の職員も一安心。









この日の最後のメインは、皆様お一人ずつ写真をプリントしたメッセージカードをお渡ししながら、長年社会に貢献されてきたことへの感謝の言葉を添えて長寿をお祝いしました。

（G・Sユニット　Y）

「本格珈琲で祝賀行事」

ASユニットでは、皆様のご長寿のお祝いと、日頃の感謝の気持ちを込めて敬老の日記念行事（敬老会）を行いました。

この日は準備として午前中から利用者様と一緒に豆腐わらび餅作りを行いました。手間をかけ出来上がったわらび餅は、行事開始後、きな粉をかけて皆様に召し上がって頂きました。

また「コーヒーが飲みたい」というご利用者のリクエストに応え、職員が自前のドリップコーヒー機器を持参して本格コーヒーを味わって頂きました。フロアにコーヒーの香りが広がり、わらび餅と一緒に味わいながら笑顔で歓談のひと時を過ごしました。「わらび餅、本当においしいね！」「コーヒーも久し振り！」との声が聞かれました。



この後、職員が作成した記念のメッセージカードをお一人ずつお渡し、敬老の意義を込めて感謝の気持ちを伝えました。

（A・Sユニット　H）





「ハロウィンって何？」

ハロウィンの時期となり、Dユニットではこのほど、仮装パーティーを開き楽しみました。

ハロウィンの定番ソングを流し、皆様には魔女やお化け、ジャックオーランタンなどに扮してもらいました。被り物や小道具で装い、鏡に映った姿を見ると恥ずかしそうにされたり、「かわいいね、似合ってますよ」との職員の声に満面の笑みを見せていました。





ハロウィンと言えば「かぼちゃ」ですが、この日はおやつに温かいパンプキンスープを仮装姿のままで召し上がって頂きました。「うまい！」と目を丸くされる姿も見られました。

「ハロウィンって何だかしらない」という声も聞かれる中、季節行事の一つとして実施した今回のイベントを通じ、秋の訪れを感じながら、皆で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

（Dユニット　I）



「毎週末の映画サロン」

EFユニットでは、週末の午後「土曜映画サロン」を行っています。

最近放映した映画では、「かあちゃん」「銭形平次」「御金蔵破り」「男はつらいよ」「釣りバカ日誌」等々。

事前の告知ポスターでは、観賞される皆様が「懐かしい俳優だね！」などと良き時代の記憶を呼び覚ますよう、映画のタイトル、公開年度、配給会社の他、出演スター名などを表示しています。

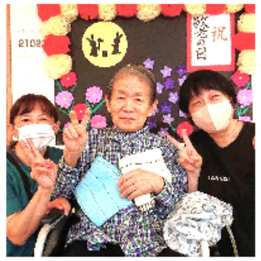
ユニットたより

「百歳よいじゃないね」

Dユニットでは敬老の日を記念し、ご長寿を迎えられた皆様に敬意を込めて「敬老会」を行いました。

この日の記念にはふわふわのタオルと足首がゆったりした靴下をプレゼント。お一人ずつお渡しし、十五夜とコスモスをしつらえた壁面を背景に記念撮影を行いました。

八月下旬に入居された夏井様は今年一月に八十八歳を迎えられました。冷え防止にスカーフが欠かせないとのことで、おしゃれなスカーフを贈りました。早速身に着けてカメラに向かってポーズする姿が見られました。小林様はいつも見だしなみを整えていて、カメラを向けると「男前に撮ってくれよ」とピースサインを。







Dユニットでは岡田様が九十八歳で最高齢。たまに見せる茶目っ気のある姿が魅力的です。次いでT様が九十六歳。口癖は「百歳まで生きるのはよいじゃねえよ」と。そうは言いつつも、ご本人が一番活発なような気がします。

また遅ればせながら松本昌子様の八十六歳の誕生日祝いも行い、老舗虎屋の水羊羹を召し上がって頂きました。口にされた途端にハッと目が輝き「あっ、美味しい！」と感嘆の声がもれました。やはり甘いものは格別ですね。この日の「敬老会」ではそれぞれにお元気な様子が伺えました。



これからも皆様が笑顔を絶やさず、穏やかに過ごされますことを心より願っています。

（Dユニット　I）

「焼き饅頭で敬老会」

三号館HIユニットの敬老の日を記念する行事では、群馬県人では誰もが大好きな「焼き饅頭」を作り、長寿のお祝いを。

皆さんにとって焼き饅頭にまつわるエピソードは、それぞれ長い人生の中でたくさんあると思います。そんな思い出に浸って頂くため「たかが焼き饅頭、されど焼き饅頭」とばかりに、職員はしっかり準備を行いました。





鉄板の上で焼き上がるにつれてホールいっぱいに甘じょっぱい味噌だれの香ばしい匂いが広がり「いい匂いだね、早く食べたいね」と皆様ワクワクしたご様子でした。焼きたてをお出しすると「久し振りに食べたけど、やっぱり美味しいね！タレも甘くてうまいよ」と皆さんから絶賛の声が。

中には口元に味噌だれをたくさんつけながら美味しそうに召し上がる方もおられ、一気に会話も交えて盛り上がりを見せました。ジュース、サイダー、緑茶などの飲み物も選んで頂きました。





多くの群馬県人の中で、県外出身の田口様は今回初めて焼き饅頭を召し上がったとのこと。「甘じょっぱくて不思議な味だね。こんなにうまいんだね」と嬉しそうに感想を聞かせてくれました。

『焼き饅頭で敬老会』何とも群馬ならではのものですが、皆様の笑顔がたくさん見られました。

（H・Iユニット　M）

委員の一言メモ

★推し活に埼玉所沢・サクラタウン（武蔵野坐令和神社）に行きました。本命の御朱印が買えたので良かったです（奎）★長年病気知らずで健康でしたが、風邪でこのほどダウンし、改めて健康の大切さを実感（和）★動物カフェでミーアキャットとチンチラに触れ合うことが出来てあまりの可愛さに幸せいっぱいになれました（里）★すっかり秋らしくなり、庭の柿の木が色づきはじめました（広）★残暑よりはと思いつも、秋の長雨は辛く感じました。知らぬ間にもう十月（山）★家の近くの畑に色とりどりのコスモスが！秋の訪れを感じています（季）★高崎花の苑にとって秋の恒例行事となったしんたかお祭り作品展。今年の参加者は過去最多となりました（美）★先日地域の防災講座に出席し、改めて防災知識と防災力強化の必要性実感。施設内防災委の取組に敬意（井）